

2018年（平成30年）5月16日

「運転支援システム（PRANETS）」の更新完了について

当社は、貨物列車の位置をリアルタイムで把握し、走行中の運転士に運転を支援する情報を伝え、「安全・安定輸送」をサポートするシステムとして運用してきた「運転支援システム（PRANETS）」について、2016年（平成28年）7月にその更新を発表し、作業を行ってまいりましたが、今般、システムの更新作業が全て完了しました。

当社では今後も、貨物列車の運行に関して、さらなる安全の確立・安定輸送の確保、ならびにサービス向上に努めてまいります。

1. 更新の効果

ハードウェア故障率の低減と運転支援データの提供方法の変更（USBメモリ方式からダウンロード方式）により、システムの稼働率が大幅に向上し、お客様へより正確な列車位置情報の提供が可能となり、また他のシステムとの連携により、輸送障害時において早期回復に貢献できるようになりました。

具体的には従来のPRANETSでは、データを更新するにあたりUSBメモリを使用していたため、運転区所等で毎日USBメモリへデータ作成作業を行い、運転士の手作業によりデータの更新を行っていましたが、今回の更新によりデータを直接ダウンロードすることが可能となったため、データ更新作業の低減及び輸送障害時の迅速な対応が可能となりました。

※PRANETS（プラネッツ）：Positioning system for RAil NETwork and Safety operating

2. 更新の概要

- （1）端末・機器の更新と簡素化
- （2）アプリケーションプログラムの新しいOSへの対応
- （3）機関車位置発信の二重化
- （4）列車番号の補完入力への対応
- （5）運転支援データのダウンロード方式の変更
- （6）機能拡張への対応

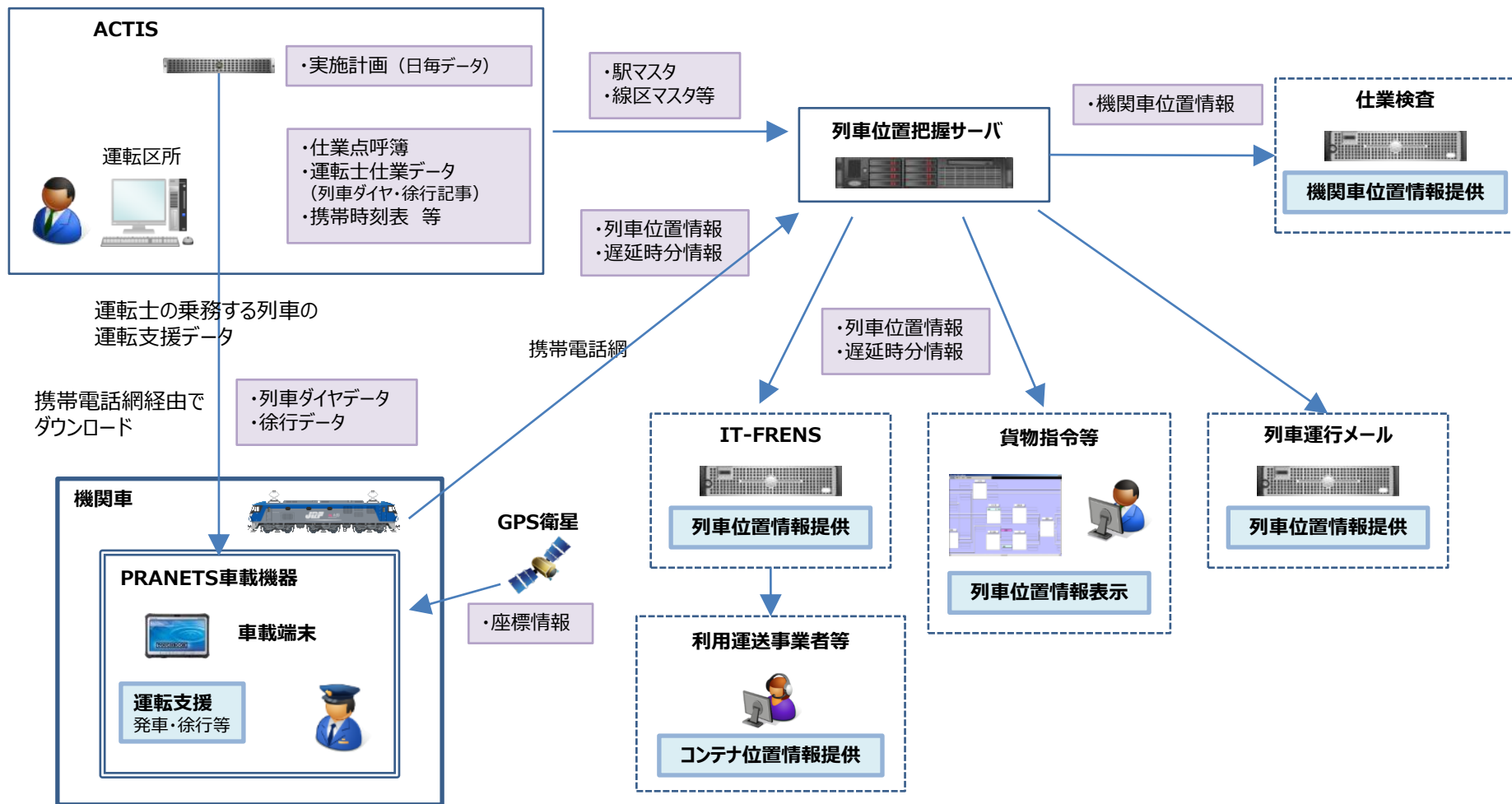
3. PRANETS システム全体概要図

別紙1参照

4. PRANETS 搭載イメージ

別紙2参照

PRANETS システム全体概要図



PRANETS 搭載イメージ

	標準タイプ	吊下タイプ	
従来版PRANETS			
PRANETS			
		EF210・DD200が該当	